広報 いずみざき

村づくり五原則

一、皆んなで手をつなぎ生きがいと幸せをつくろう。
一、きれいな環境と健康なからだをつくり快適な生活をめざそう。
一、知性と教養を高め文化の営みをさかんにしよう。
一、働く喜びを味わい豊かな生産を上げよう。
一、皆んなで心を合わせ平和で明るい郷土をつくろう。

昭和59年1月1日発行　（第198号）　編集・泉崎村役場総務課　印刷・野木印刷所

謹しんで
新年のお慶びを
申し上げます

職員一同

〈今月の主な記事〉

2～12面…年頭のあいさつ
13面……国保だより
14面……保育所もちつき大会
15面……村長らお年寄り訪問
16面……今月の行事・おいわいおめでた

1月号

〈村民のうごき〉　人口 5,723人　男 2,831人　女 2,892人　世帯数 1,232戸

新年のあいさつ

泉崎村長
海上博之

新年明けましておめでとうございます。

村民の皆さんと共にことこぎますとともに昭和五十九年は昨年に続きまして力強く躍進することができる泉崎村の年でありますように心から願っております。

昨年は、平和にして活気に溢れる村づくりを進めることができました。皆さんから寄せられた大きなご協力のたまものでありますことに先ずもって深甚なる感謝を申し上げる次第であります。

私は、親愛なる村民の皆さんによって村政担当を命じられて以来、その負託に応えるために過去三年余りの間五千七百名の村民の代表として全力をあげてこの重くそして光栄ある職責を全うすべく泉崎村の建設を進めて参りました。これ一重に村民の皆さんのご支援の故と有難く存じ上げております。

抱負

さて、年頭に当り昭和五十九年の私の抱負を申し上げ村民各位のいっそうのご支援とご協力をお願いする次第であります。

私は、三年前の選挙に於て明らかにした明るく住みよい「日本一の村づくり」を達成するために交通、産業の基盤の整備と教育、文化、福祉の各般にわたる施策の充実を推し進めるために全力を投入して参りました。郷土を築くことは、この地に育ちこの地を暮しの現場としている者の義務であります。

私は、村のもつ価値は、村民の皆さんがそれぞれの立場から村の建設を目ざして共通の夢を持ち、これを実現するために皆んながどれだけ力を出し合うかと言うことによってきまると思っております。

就任以来、理想を掲げて出発した三年間の村づくりは、幾多の困難な事情を乗り越えて精いっぱいの歩みを積み上げてきたつもりであります。

建設途上に於けるもろもろのご批判やお叱りのありましたこともじゅうぶん承知しておりますが、途上、こうしたご批判を無駄にしないためにも過ちなき村の未来を築くために誤りなき方法と施策を慎重に検討しながら進めていきたいと考えております。

五十八年の足跡

昭和五十八年度は、泉崎村にとって「明日へ飛び出す泉崎」を合いことばに、いろいろな事業を進めました。

皆さんのご協力が功を奏し、新農業構造改善事業、農村環境整備モデル事業、カントリーパーク事業、ニュータウン建設事業、企業導入事業等々着実な建設の歩みをきざむことができました。

中でも、泉崎大橋が完成し、東西両地区の本村交通の円滑な確保がはかられることになったことは、県南交通網のかかわりにおいてやがてこの橋の威力は本村産業の発展にはかり知れない貢献を果して行くものと確信をいたすところであります。

大橋の建設に向けてご協力をいただいた地権者の皆さま、大橋の建設による踏切除去、このために蒙る迂回交通など農作業農地管理に不便を感ずる附近の関係居住者の方々、商店等への影響を感ずる方々など種々ご意見のあったところでありますが、構内二つの踏切ラッシュ時の渋滞、とりわけ悼ましい人命の犠牲を一再ならず経験したところであり人命尊重優先の立場から利害を超越してのご賛同をいただいた関係者各位に対し改めて厚く御礼を申し上げる次第であります。

未来に向けて泉崎村発展のためにこの大橋の担う役割は極めて大きいものと言わなければなりません。この大橋の完成をはじめ、前述の各種事業の遂行がなされたことは、村民挙げて喜びに値する歴史的意義をもつ昭和五十八年であったと思うのであります。

五十九年の村づくり

新しい年に向けて私のえがく理想は、まず村民の一人ひとりがそれぞれの抱負を胸いっぱいに秘めながら一歩一歩と力強い歩みを進めていただくことであります。

こうした村民の皆さんの努力と精力を背景に、またこれらに支えられながら村全体の計画が実行されなければなりません。

泉崎村は今、壮大な転機を迎えようとしております。

農政の取り組み

従来農業一筋の生き方の中で進められた農政一本の行政は、多様化する社会の動きと住民のニーズに応える真剣な取り組みが求められております。

新しい時代に向ける泉崎の産業のしくみをどうするか、また、これをなし遂げていく間違いのない目標の設定とシステムの探求とその確立が次の泉崎村の社会の創造のために役立てられていかなければなりません。

私は、歴史に裏打ちされた泉崎村のビジョンを建設への構想として具体化し主体的に取り組んでいくことが、また、こうした新しい潮流の先頭に立ってリーダーシップを発揮していくことが村の政治にたずさわる者に課せられた責任であると考えております。

村の発展と建設の流れはとどまることなく、あせらず、しかも着実に大きな流れとして推し進められなければならないと思います。

このような立場に立って長期のビジョンの中での泉崎村の昭和五十九年の村づくりの構想を次のように設定し力強くその歩みを築き上げていきたいと考えております。

今年も泉崎村の建設の成果を歴史の風雪に耐える仕事として成し遂げていく所存であります。

●米づくり

ここ数年来続いた冷害型農業気象の後だけに昨年の米づくりは、たいへん心配した中で出発した次第でありますが農家の皆さんの賢明なるご協力により本村農業史上画期的な取り組みとして航空防除の実施など、その成果としてまずまず平年作の水準にこぎつけることができましたことは喜びに耐えません。しかも、品質のできばえがすばらしく、平年に較べ一等米が出荷総量の八十六%の好成績を収めることができましたことは、全村にわたる組織的防除活動の成果としてこれを受けとめる必要があると思います。

五十九年度は、二回に及ぶ全村空除延一七〇〇*ha*を実施して参りたいと考えております。

●水田再編

良質飯用の不足気味な中でなお生産調整をはからなければならない我が国食糧事情が続くのは累積古米の解決が進まず全体として過剰備蓄によるものであります。

今年の水田再編対策調整の割当面積が去る十二月に決定を見た次第であります。

昭和五十三年度から実施されている再編対策が、昭和五十九年度から第三期に移行されることになり県全体に対し一七九二〇*ha*の目標配分となり本村分目標面積は一五九*ha*となりました。前年配分に比し十七*ha*の増加で約十二%の面積増加となっております。

しかし、五十九年配分面積のおおむね一割に相当する面積が他用途利用米の生産を行ってもよいことになっておりますので実質昨年程度の転作目標の設定をめやすとしてよろしいかと考えますが具体的には配分会

▶航空防除

議を通してお示し申し上げますので各農家のご協力を望んで止みません。

●新農業構造改善

「明日へ飛び出す泉崎」をめざす農政を掲げて取り組んで参りました新農業構造改善事業も実施第三年目を迎えることになりますが、五十九年度事業としてまだ設置を見ていなかった西地区（川崎地区）へのライスセンターの設置をはかり両地区にわたる作業能率の向上と品質改善を進めるなど合理化と省力化をいっそう推進し以って経済効果の高い農業経営に導きたいと考えるところであります。

なお、五十八年度からの継続事業である農業者トレーニングセンターは、五十九年十月には完成を予定しておりますので、本年中には村民の皆さんの利用に供したい所存であります。

新農構事業については、昭和六十年以降無線情報施設、簡易給水施設を計画しておりますが、これらの実施に向けての諸準備を進める年にしたいと思っております。

●グリーンアスパラガス

農業経営の安定をはかるために、特に水田転作の有利な作物の研究を進めてきたところでありますが、県南地方に於ける有利作目として主産地の形成促進をはかっていくことになりました。

県南地方二百*ha*の目標枠組の中で六十一年度まで泉崎村は三十*ha*を目標としております。五十九年度は、昨年の四*ha*に続き九*ha*の確保をはかり水田転作米促成型での栽培を推進していく所存であります。

●地域農業集団の育成

農業の兼業指向の中で、農村に押し寄せるもろもろの問題、片手間農業の非効率性、計画的統一的農地利用阻害、生産性のいっそうの低下、農地の荒廃など今深刻な問題となっております。したがって、これら地域農家の経営における個人経営の悩みと非生産など不安定な現状から安定農業を指向した努力を払わなければなりません。

農業経営の健全化をはかるために集落単位の集団活動の実践を通して地域内農家の連携と補充的結合機能の強化を推し進め農家経営の安定を実現しようとするものであります。「地域農業管理運営協議会」の設置を軸にこの運動を展開していく所存であります。

農業は今まさしく我が国産業全体の中で苦境にあることは事実であります。しかし、悲観的にだけこれを見てはなりません。今こそ我々は、農業こそ頭脳型産業として理解し、広範な科学と地域の条件を巧みに活用した取り組みによって大きく前進させ得る産業としなければなりません。

商工展望

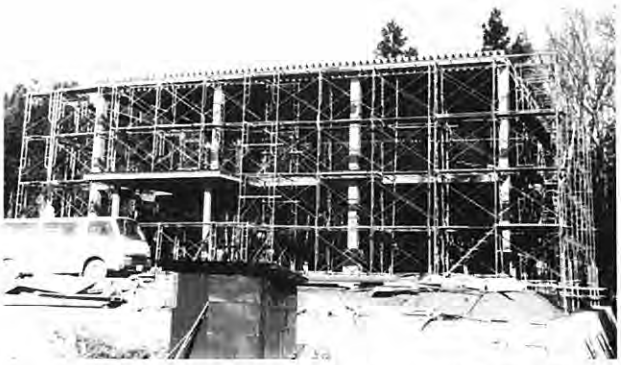
商工活動がさかんであることは、村民の豊かさをそのまま表わすものであります。

村の産業政策、生産、雇用、所得と綿密にからむので村の近代化と活性化に伴ないまして、今後は商工活動がますます期待できるものと確信を致します。

この時期に商工会の皆さんが一丸となり、その拠点たる商工会館の建設がなされることは、今後のよりいっそうの商工の展望が開け行くものと力強い限りであります。かかる観点から商工体質の改善、地場産業の振興、人材の確保とその対策、さらに制度金融の適正措置、未組織労働者の融資対策の普及指導など効果的商工政策の推進に力を入れて参る所存であります。

●県南中核工業団地

数年来、広域圏計画の中で泉崎村・白河市にまたがる国道四号線と東北本線の間の地域約五百*ha*の地区一帯に県南中核工業団地を設定すべく関係筋への運動を進めてきた次第であります。今年度は調査費がつく見通しにありますので具体的実現に向けていっそうの努力を払い、泉崎村の発展をこの面から促進してゆく所存であります。



▲建設中の商工会館

新しい政策

●皆んなの願い

さて将来に道を開く泉崎村の課題は、社会の変化と共に諸々の施策が求められるところであります。

過去の歴史が、かかわって出来た今の泉崎村の現状を大きく飛躍し転換させてこれを発展の方向へつなぐためには、大変な事業と将来をにらむ選択が迫られるのであります。

何もかも同時になし遂げるわけにはまいりません。一歩一歩と段階を経て進ませる必要があります。このような意味では、泉崎村の将来的課題としての取り組みは、ほんの緒についたばかりであります。

長い歴史がつくった現実をことばの上だけでなく実際に変えていくのは、ほんとうにたいへんな仕事であります。

泉崎の過疎をくい止め、発展へのレールを敷く作業は、すでにはじまっております。今後に予想されるたくさんの障害をのり越えてかたい覚悟で進んでいくつもりであります。

▶造成中のニュータウン

●ニュータウン

今、泉崎村のニュータウンの建設の歩みは、地権者の協力を得て完成に向けて真っしぐらに進みつつあります。今年の十月には完成の予定であります。村は今、この販売作戦を展開しておりますが、去る十二月はじめの第一次募集の段階で概ね百戸の契約が成立しております。今後、第二、第三の募集を進めていきますが、本年は、工事の完成と販売作戦に重点をしぼっていきたいと考えております。

●岩崎通信機株式会社

昨年後半に私の生命をかけた屠胴塚貯水池の開発を大手企業の導入という形で皆さんとの公約を果し得る結論に到達いたしました。

この事業の完成も、完成までなお幾多の困難が予想されますが、今年二月には完成致します。昭和六十年度操業を目論でおり、泉崎村の生きる前途に新しい方向を生み出した大きな出来事として一層の努力を払っていく所存であります。

◀岩通との調印式

●中銀マンシオン株式会社

泉崎村が長い間、交渉を進め実現をめざしてきた新しい出来事に太田川の奥地である山林百五十haの中に建設される白河高原レックがあります。

中銀マンシオン株式会社が建設を目ざす事業でありますが、大研修施設と保養とゴルフ場を兼ねたユニークなレクリエーション、ケアーの大センターであります。いわば、リゾート産業の新しい形での登場であります。京浜地方の大手企業の契約利用が主として中心になりますが、首都圏との往来がこの施設を通してしげくなり陸の孤島化が心配された太田川の奥地に新しい発展の息吹が到来することは必至であり、明るい期待がもたれております。白河レックが完成した暁には常時三百人の雇用が予定されております。あと二年後には竣工を見ることになっており、泉崎村が発展への布石として目したこの産業について重点的に協力を致していきたいと考えております。

雇用をつくり、人が集まり、所得を高め、消費を伸ばすことは明日の生活をつくる上でどうしても必要なことであります。こうした新しい政策の取り組みが村民の幸せを拓くために大きな協力を願って止みません。

環境を整える

●農村環境整備モデル事業

村民の皆さんが快適な生活を満喫できることを環境の面からつくるために農村環境整備モデル事業を実施してきましたが、いままでに農道、集落道、排水路、農村公園と約七億円の経費を投入してその整備を進めてきたところであります。

この事業も通算八年目を迎えることになりますが、今年は、農道二路線、集落道八路線、排水路一路線等の事業実施を予定しております。

●農村集落排水事業

農村における生活面の文化の向上をねがって家庭の雑排水とし尿処理を近代化し各家庭が生活を通して実感できるよう宿舘高屋、入中方部をモデルケースとして五十八年から取り組みを進めてきたところであります。昭和五十九年度は、流末処理場の建設を進め、来年以降配管布設工事を実施する計画になっております。

●総合運動公園（カントリーパーク）

五十八年から取り組みを進めてきた総合運動公園の建設につきましては五十九年度より着手に踏切りたいと考えており、差し当り要求度の強い多目的運動公園からとりかかりたい所存であります。

●農免道（大規模農道）など

県営農道「矢吹南地区」として五十八年度より採択着工し四号国道ー踏長ー長峰ー十軒前ー松倉ー中島を貫くこの道路はやがて高速インターと本村の関係地区との最短路線として期待され、農産物その他の運輸条件を大きく改善できるものであり関係の町村と協議を進め早期完成を目指したいと考えております。

更に踏瀬滝原前山ー二本栗ー太田川ー小田川芳賀須内を貫く県営農道「泉崎地区」として五十九年新規採択着工の予定であり、白河市と歩調を合わせ実現への努力を払う所存であります。

このほか、建設省関係の補助事業にかかる道路事業五路線、村道など十一路線の整備を進め交通環境の改善をはかる所存であります。

福祉をつくる

五十八年度までに保育所老人福祉センターその他の施設の活用につきましては、極めてさかんであり村民の皆さまにたいへん喜んでいただいております。

これからは、福祉の中味をつくる運動をいっそう推し進め、施設利用のよろこびを高め、触れあいを通しての豊かな心をつくり幸せいっぱいの生活ができますよう願っております。

●医療保健等

昨年から取り組んでまいりました病院の拡充計画に基づく病棟の三層増設事業につきましては、五十八年度事業としてこの三月には完成を予定しておりますので利用の面でのいっそうのサービスを高める年になるかと考えております。

医療はもとより、この他保健、福祉、教育といった社会的サービスに関連する諸政策については、くらしと希望そして幸せをつくるという面から総合的に村民の福祉を高める問題として捉え、いっそうの充実を図っていく所存であります。

●水道

文化と福祉につながる水道事業につきましては、今年は本村水道の第三次拡張事業実施の予定の年度に当りますが、ニュータウン、岩通進出にからむ水道事業など給水体制の充実に力を入れる年にしたいと考えております。

●水資源の展望

水の問題は、地域の発展と重要にかかわります。

現代社会の発展は、水の安定供給がはかられるかどうかによって支配されると言っても過言ではありません。泉崎村を含めて広域的構想の中で西郷及び大信など奥地にダムの建設をはかり以って将来的水資源の安定を確保するため広域的解決を致すべく精力的な努力を払っていく所存であります

▶三階を上げる村立病院

す。

●青少年

青少年をめぐる問題は、今の大人の子供時代と大きく異なっております。近代工業と文明社会が生み出した「豊かな社会」によってもたらされた、いわゆる「先進国病」といわれるものの原因であり結果であります。これは、先進国共通の問題であり大きな悩みであります。

しかしながら地域の問題社会の問題として将来を切り開く青少年が健かに、たくましく成長することこそ全社会の人々の願いであり、また、責任であります。

多くの青少年が健全に育っている一方で、非行や問題行動が依然として増えていることは、まことに憂慮すべきことであります。

青少年の非行の背景は、家庭の養育指導のあり方、学校の指導のあり方及び社会環境など複雑にからみ合って、礼儀、責任、親切、奉仕の精神等人として生きるために必要な基本的な要素についての教育が不十分となっていることが原因になっていると考えられます。

いまこそ、今日の社会がこれを大変な問題としてとらえ、村の大人たちが果すべき義務という視点からこの対策に全力を投入すべきときであると思うのであります。

私は新年に当り全村民がこの事態を銘記するとともに自らの在り方を問う反面青少年の育つ優れた環境を打ち立てる必要があると思うのであります。

昨年暮に「泉崎村青少年育成村民会議」を発足させましたが、この機関を軸に次代を担う青少年が正しい成長がはかられる運動を大きく展開したいと考えている次第であります。

▶青少年育成会議発足式

最後に

綿々と続く村づくりの努力は、いばらの道に等しいが皆んなの力を合わせれば理想の郷土が必ず出来ると信じております。

勤労があり、生産があって、また、歌声があり、知性があって喜びと希望が分ち合える泉崎村をつくることが、私の唱える「日本一の村づくり」であります。

この地に住むことに限りない幸せを感じる泉崎村をつくるために今年も大いなるご協力とご奮斗をお願い致します。

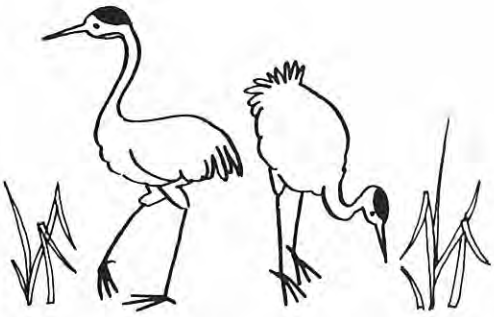
最後に、村民の皆様お一人おひとりに幸多き年でありますよう心からお祈りし、私の年頭のごあいさつといたします。

農村環境改善センター
老人福祉センター

所長　**金子　俊雄**

泉崎村自慢の農村環境改善センターは、開業以来三年目に入り村民文化の殿堂としての役割を果たしています。各種会議を始め、結婚式・料理教室・宴会等今後も大いに村民に利用して戴きたいと思います。最近は、各種合宿にも利用され喜ばれています。

又、老人福祉センターも利用客が予想の二倍近い村民と他町村の利用客も増え忙しい毎日です。去年は、送迎用のバスを購入しましたので御利用下さい。男湯も広く大きくなり喜ばれています。今度ベテランの調理師を迎えました。安くて旨い料理を提供します。夜間営業や酒類の原価提供も自慢の一つです。カラオケ用テープも最新のものを揃えました。農休日の入浴保養や宴会の御相談には気軽に御電話下さい。職員一同御待ちしています。



年頭のあいさつ

議会議長
熊田　直輝

輝かしい新春を迎えるに当り議会を代表し、つつしんで新年のごあいさつを申し上げます。

この度浅学非才な私が昨年の村議会議員の改選により十月議会において、はからずも議長の重責を負うこととなり、いまさらながらその使命の重大さを痛感いたしております。

私は議会の円滑な運営と皆様方の声が村政に反映されるような状況づくりのために、ひいては村政伸展のため微力ではございますが努力を続けてまいりたいと存じております。

昨年は、経済不況等により国民生活の圧迫も大きく行政改革により地方財政の危機的様相が深刻化の一途をたどり更には年も押し迫った十二月には国会も解散され衆議院議員の総選挙とあわただしいなかで暮れました。このような状況の中で迎えた昭和五十九年は、本村にとっては極めて重要な年になるのではないかと思われます。

脚光をあび発展の途上にある本村にとっても、あまりにも厳しい財政状況が存在する中で皆様を代表する議会人といたしましても、国、県に対しその対策を強く働きかけますと共に執行機関と相協調し限られた財政の中で行政効果を最大限にあげるべく努力を払ってまいりたいと存じております。議会は村民の代表として議決機関の機能を最大限に発揮しつつ皆様方の御期待にそうよう努めて参る所存でございます。どうか一層の御支援御協力をお願い申し上げ村民の皆々様方にとりまして御多幸であります ようお祈り申し上げ新年のごあいさつといたします。

年頭のあいさつ

総務課長
大野　次男

あけましておめでとうございます。昨年は皆々様の特別の御協力を得まして、当初の目的が順調に進んでおり感謝申し上げます。

今年も「住みよい村造りに全力投球で目標達成のために努力してまいりたいと存じます。村民一人一人の尚一層の御協力を頂戴して行政の伸展を図ってまいりたい所存であります。

税務課長
海上　仁

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は納税組合員の皆々様をはじめ村民各位の皆様には多大なる御協力を頂きました事を厚く御礼申し上げます。就いてはもう一つ御願い致したいと思います。それは納税組合に加入されない方に今年は是非組合に加入される様お願いしたいと思います、私達の環境をより住みよいものへと変えて行く為には税という形でお金を出し合いよく話し合って公園や学校を建てたりしていかなければなりません、この様に私達の明るい生活をおくる様にしたいと思いますので組合の組織のない地区や組合に加入していない方は今年度は組合を設立し加入される様お願いして年頭のご挨拶といたします。

建設課長
小林　忠男

新年あけましておめでとうございます。

すがすがしく新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

さて、我々建設課の昭和五十九年事業の主なものとして、カントリーパーク（総合運動公園）事業の工事着手また生活環境及び交通通信の確保をはかるため道路網の整備等があげられます。

公共事業の縮小等厳しい情勢ではございますが、効率的に事業促進をはかるため課員一丸となって努力いたしますので村民皆様の一層のご理解ご協力をせつにお願いいたします。

議会事務局長
北沢　喜一

一九八四年の輝かしい新春を迎えおめでとうございます。顧りみますと昨年は国の内外を問わず多事多難

なしかも激動するなかで暮れました。

今年こそは経済が回復し明るい、豊かな生活ができますよう期待をいたし、本村の限りない発展と併せて皆様方のご多幸を心からお祈りいたし簡単ではありますがご挨拶といたします。

水道課長
鈴木　俊貞

新年あけましておめでとうございます。五十七年も村民各位の理解と協力により豊富で清潔な水を供給する事ができました事を厚く御礼申し上げます。水は貴重な生命の源であり、私達人間はもとより地球上の生物にとって、欠かす事のできない限りある水資源であり今後泉崎村も企業進出と人口増加等による水資源確保に全力で対処し、等三次拡張水資源対策整備事業を財政と見つめながら検討して行く所存であります。

泉崎村の簡易水道も五十八年四月一日より上水道事業として躍進する事になりました。今後二十一世紀に向けて生活環境の改善を目的とした水資源開発を考え給水施設の充実を整備いたしたいと思っておりますので本年も又、昨年同様御助言と御指導を心からお願いいたし、村民各位の御健勝と泉崎村に幸多かれと祈りながら新年のあいさつといたします。

企画開発課長
田崎　文能

新年あけましておめでとうございます。

昨年中は、農村総合整備モデル事業、宅地造成事業企業誘致事業、国土調査事業等で地権者の皆様方のご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

今年も、これらの事業が引き続き行なわれますので尚一層の御協力をお願い申し上げる次第であります。

今年は、子年であり、子は十二支の先頭を行く大変縁起の良い年と聴いております。この縁起の良い年にあやかって、地域の発展に努力いたすつもりでありますのでどうぞ今年もよろしくお願いいたします。

産業経済課長
荒井　利定

新年おめでとうございます。

昨年は当初期待されていた米の作況もやや不良に終りました。加えて昭和五十九年度から水田利用再編第三期対策に入るなかで、本村農業は、社会的経済的環境の変化のなかでますます厳しい情勢下にあり複雑な諸問題が発生しております。

今年は昨年暮までに各地区に組織化した地域農業集団（地区村づくり推進協議会）の地域活動を通し、農業者自らの創意と工夫を結集し足腰の強い農業と豊かな活力ある農村集落を創造するため農業協同組合はじめ農業団体と連けいを密にしながら　①中核農家の面的規模拡大を容易に進めるため農用地の有効利用と流動化の促進　②農業機械施設の有効利用と個別経営における過剰投資の抑制　③複合経営類型の確立と主要野菜の主産地形成　④土地生産性の安定と土づくり　⑤農家相互間の連けいを強め、土地、労働力、資源有効活用等補完結合の促進等集落実践活動を展開し、やりやすい農業、もうかる農業への方向づけをしながら明日への希望をもった事業を進めたいと思います。

なお昭和五十九年度最重点事業は次のとおりであります。皆様の御理解御協力をお願いします。

一、水田利用再編対策（第三期）の取り組み

ア、管理預託水田の解消

イ、転作の団地化定着化の推進

ウ、転作作物の技術普及

グリーンアスパラガス・ハトムギ（契約栽培）・菊（切花）・大豆、麦等土地利用型作物の技術改善

エ、他用途利用米の取り組みと生産安定

二、新農業構造改善事業推進

ア、農業者トレーニングセンター（十月完成予定）

イ、ライスセンター建設（川崎一五〇*ha*対象）

五十九年九月操業開始

ウ、水稲空散防除（全域）

エ、農業機械銀行の設置運営

機械作業等の受委託調整、堆厩肥の斡旋交換等

オ、繁殖用和牛の導入

年頭のあいさつ

教育長
木野内重三郎

明けましておめでとうございます。いつの年でも、年の始めに思うことは、今年こそ、昨年より少しでも良い年であって欲しい、ということであります。しかし歳月の経過は、必ず良い前進のみを保障してはくれません。当事者の渇望と、それに即した努力があってこそ、日進月歩があるものであります。私は、年頭に当り強くこい願うことは、次代を担う青少年達が健やかに育って欲しい、ということであります。全国的に昨年も青少年の非行は減少することなく、その対策も決め手がないままに、越年となり今年の重要な課題であります。勿論、このような現象は、全体からみれば少数であり、殆んとの子ども達は頼もしく成長していることを付記しなければなりません。

思うに、少年時代に問題行動を起こすときは、その子の内面に包蔵される徳性は、既に浸蝕され更に進行状態にあるわけです。学校も家庭も、遅ればせながら対症療法をもって、指導に当らざるを得ないのであります。

青少年の問題行動は、現代の一種の病理現象といわれております、その根源を完治しない限り、根本的な対策とならないと思われます。その病源を探るとき、大人達や、親達の責に帰することが余りにも多いように感じられてなりません。即ち、憂えべき社会環境であり、機能喪失の家庭環境であります。

昨年我が村にも設立された青少年育成村民会議は、帰するところ、社会環境、家庭環境の浄化、矯正運動の推進にあるものと思います。こうした地域ぐるみ運動が各市町村に組織づくりされ始めております。そして非行発生件数の減少事例も報告されておりますが、単に、監視的機関になることを慎まなければなりません、ゴムまりを足で抑圧するのと同じ理になるからであります。

行政の指針は、窮極において、社会構成の単位ともいうべき健全な家庭の育成にあるべきであります。家庭は人の生命の源泉であり人間としての徳性を最初に身につける道場でもありますし、又どこよりも、何にも優る安住憩の場でなければならないからであります。

子どもは親を選ぶことなく、宿命としてある男女を両親とし、ある家族の一人として生を享けるわけです。こうゆう見方をしてまいりますと、親の立場というより、一個の人間の養育者としての責を感ずるのであります。

以上述べてまいりますと子どもの健全育成が、ただ社会や家庭の責務のように理解されると思いますが、学校は、法的にも児童生徒教育の権限を負っているわけですし、強い村民の負托にも応えなければなりません。その為に、完璧とはいかなくとも、整備された機能をフルに駆使し、更に教師各位の一層の尽力を督励してまいりたいと思っております。

昭和五十九年が、園児達が喜々として園に集い、児童達がすくすくと一、二小に育ち、生徒達がたくましく中学校に生きる年であることを期したいものであります。

更に希求することは、社会教育が振興され、貴重な文化遺産の保護施策が緒につく年であることを。

幼稚園長代理
海上美津枝

新年おめでとうございます。

年頭に当りまして、皆様方のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

園長代理の命を頂き、無我夢中と暗中模索の毎日で早二年目を迎えました。

社会の急激な変貌と幼児をとりまく環境の複雑化や親の価値観の多様化と知的教育の要素が深くからみ合い、今日ほど幼児教育の重要性が叫ばれ、又、今日ほど幼児教育の必要性が望まれている時はないと思うのです。

しかし、この様な時、一

泉崎村中央公民館長

円谷　泰秋

村民の皆様、明けましておめでとうございます。

昭和五十九年の年頭に当り村民皆さまの御健康と御活躍をお祈り申し上げます。

公民館が昨年中に行った各種の事業行事には村民多数の御参加をいただいておむね盛会に終わることができましたことは皆様の御協力のおかげで感謝に堪えません。厚く御礼申し上げます。

今年は昭和五十年代の最後の年ですので村民の学習の場として、公民館の機能を十分発揮して参りたいと思いますのでより一層の御協力をお願いします。

そこで今年の方針として小集団の活動を拡充強化して参りたいと思います。

気の合う人達十人程度でグループ（小集団）を作り目標をたてて学習することは楽しいことであり生きがいを高めることでもあります。体力保持のためのグループ、スポーツを楽しむグループ、趣味の会、技能や技術を高める学習会など何でも選ぶことができるでしょう。頼まれてやるのではなく、自ら選び、進んで同好の士を募って共に学習することは人の一生にとって極めて大切なことであります。

学習しないでいると人は退歩を避けることができません。学習は人生を豊かにし退歩を防ぐ最良の方法です。

「継続は力なり」と申します。始めたり倦きないで続けることが大切です。

公民館は個人の学習の場でもあります。グループができない時は個人で、遠慮なく御利用下さい。

今年も村民の御協力によってわが泉崎村が発展向上の一路をたどることを念願して止みません。

住民課長
（保育所長）

鈴木　義勝

明けましておめでとうございます。

輝かしい昭和五十九年の新春を迎え、皆々様のご健勝を心よりお祝い申し上げます。

昭和五十八年に於いては老人保健法の実施又は、行財政改革による各種補助事業の見直しがされる中に於いて、福祉政策、住民の健康管理等を進めてまいりました。

本年は、昨年に増して保健医療の充実、福祉の発展、青少年育成と各種事業を進めてまいりたいと思います。

又、保育所におかれましても、内容整備の充実を計り、保育者と子どもの間で展開される保育実践又は、地域社会における児童の発達体系の実態についての深い反省を通して、よりよい〝保育の場〟を育成するために、保育者としての役割と責任の中において、保護者の期待に添うべく努力いたします。

皆様のご多幸を祈り申し上げまして新年のごあいさつといたします。

部の誤った早教育や知識教育に惑わされる事なく、幼児教育の原点と本義をふまえ、幼児期に必要なものは何か、何をしておかなければならないか、個々の発達課題を的確に押えながら更に職員一同努力し、一歩一歩着実に前進して参りたいと思います。

より一層の幼稚園教育に対するご理解とご指導をお願い申し上げ謹んでご新年のご挨拶といたします。

年頭のあいさつ

村立病院長
成沢　俊雄

明けましておめでとうございます。皆様とともに健やかに新年を迎えることが出来ましたことを心から慶んでおります。

さて、昨年度を振り返ってみますと、不充分ではありますが、皆様方の御支援の下、院内の充実が着々と進んで参りました。変遷する疾病に多様化し進歩する医療技術、器械の全てを取揃えることは出来ませんが皆様方の健康をお守りすべく、出来るだけの努力をして参りました。一方院外での活動は、定期検診、健康診断、予防接種、健康相談健康に関する講演等予防医学の立場から出来るだけ村当局と一体となり協立して参りました。しかしその緒についたと云うところで今後更に一層努力して行く所存であります。

申すまでもなく健康で明るい村、家庭を築くことは全ての村民の願いであります。そしてその基礎となるものは、一人一人が自分の健康に関心をもつことであります。又不幸にして病気になった際には早く治療を受けることであります。病気によっては自覚症状のないままに進行するものもあります。早期発見のためにも、又予防の面からも、是非定期検診をうけられます様御願いいたします。

今年度も皆様方の健康に幾分でも役立つ様に、職員一同努力を傾けて参ります。一方においては医療費、社会福祉、老人医療といった諸問題もあり、行政上なかなかむづかしい点も抱えております。しかしながら私共は、村民一人一人の健康を守り、適切な指導、相談を通して、村全体の繁栄につながることを目指して進んで行き度いと念願しております。このため更に院外活動を積極化じ、皆様方の協力を得ながら、健康推進に努めたいと思っております。本年も皆様にとって幸多い年となりますことを祈念します。

村立病院事務長
野崎　伸夫

新年おめでとうございます。

今年は医療施設の整備拡充に全力をそそぎ、村民の皆様がいつでも安心して治療を受けられる施設にしたいと思っております。

また我々職員一同は村民皆様方の健康を守るため本年も努力いたしたいと思いますので宜しくお願い申し上げます。

泉崎駐在所
佐藤　幸信

新年明けましておめでとうございます。

皆様御家族お揃いでよいお正月を迎えられたこととお慶び申し上げます。

さて、混迷と模索の時代あるいは、不確実の時代といわれる「一九八〇年代」もすでに四年目を迎え、私は、「一年の計」を立てるにあたり激しく流動する情勢の中で有意義に生きるために不可欠な頭の切り替えと仕事に喜びを持ちたいと思っております。

近年、事件事故が多様化し、特に青少年非行の問題が増大している今日、人づくりの土台となる家庭が、いかに大切であることが痛切に感じられます。

今年こそ、それらの事件事故のない明るい村づくりに皆様と共に前進して参りたいと考えております。

最後に皆様にとって幸多き最良の年であられることをお祈り申し上げます。

国保だより

わたしたちの健康のもつ意義は、健康がわたしたち自身のものであると同時に家族みんなの、そして社会全体のものだということです。

五大成人病

その健康を、今おびやかす一番恐い病気が、脳卒中がん、心臓病をはじめとする、いわゆる成人病とまとめて呼ばれている病気なのです。

【がん】

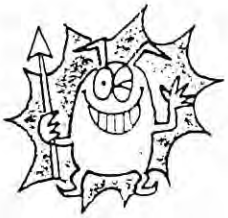
毎年のようにふえつづけているがんは、わが国の死亡原因第一位をしめています。これは、からだを構成している基本単位である細胞レベルでおきる病気です。がん細胞は、そのままにしておくと、勝手にどんどん増殖し各種臓器に転移してゆきますが、早期の治療で治すことができます。定期検診で早期に発見を。

【脳卒中】

欧米諸国に比べて大きな死亡原因となっている脳卒中は、急に倒れ、助かっても、いわゆる「中風」と呼ばれる半身不随、手足のまひなどをおこします。脳の動脈が破れたり(脳出血)、つまったり(脳梗塞)して起き、高血圧や動脈硬化などが原因といわれています。

【心臓病】

欧米諸国で死因の第一位をしめる国が多い心臓病は、日常生活が欧米化するわが国でも注意する必要があります。心臓は休みなく全身へ血液を送り出すポンプ、その、たいせつな心臓に栄養と酸素を運んでいるのが冠状動脈という血管、その冠状動脈の通り道がせまくなると狭心症や心筋梗塞のような発作がおこります。



【高血圧】

心臓から流れ出た血液が血管壁におよぼす圧力を血圧といいますが、その圧力が高くなり、その状態が長くつづくと脳、心臓などに重大な疾患をおこしやすくなります。これも、ふえつづける成人病のひとつなのです。

【糖尿病】

死亡率割合は比較的低いですが、最近急にふえてきた病気です。すい臓のランゲルハンス氏島から分泌されるインシュリンは体内でのブドウ糖の代謝を助けますが、その量に不足があると、尿からブドウ糖が排せつされるようになり、からだの活動能力を低下させ、脳卒中、心臓病などの合併症を併発します。

成人病予防は日常生活から

成人病の予防は、まず、自分の日常生活を素直にみつめることからはじめましょう。

心の安定をはかろう

自分の生活リズムを知りムリをしないようにしましょう。疲労の蓄積は万病のもとです。十分な睡眠をとり、精神の安定にこころがけましょう。

生活の条件を整えよう

寒さに注意をはらいましょう。気温差は血圧をあげます。たとえば、入浴の脱衣場は暖め、おフロも四十度Cのややぬるめにし、長湯はつつしまなければなりません。この他、酒、アルコール、タバコも度を過さないように本人家族ともども気をつけましょう。

正しい食習慣を身につけよう

1

塩からい食事はひかえる。

2

なんでもゆっくりかんで、腹八分目に。

3

動物性脂肪をひかえて、植物性油を豊富に。

4

肉・魚・卵・大豆製品のどれかを1日3回の食事にとり入れよう。

5

新鮮な野菜・くだもの海草類をたっぷりとろう。

6

スキムミルクなどの乳製品はできるだけ多くとろう。

正月気分満喫

保育所でもちつき大会

ひと足早く正月気分をあじわうもちつき大会が、十二月四日保育所で行なわれた。

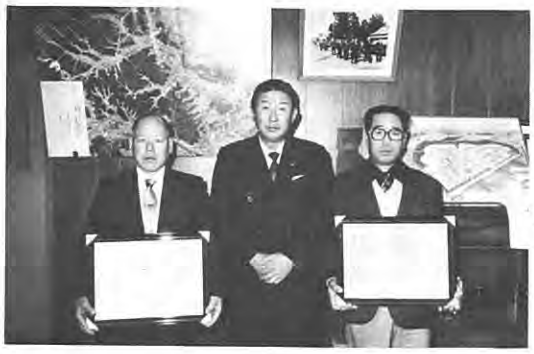
このもちつき大会は、臼杵を使った昔ながらのつき方で行なわれ、六十kgのもちをつきあげた。父母の会主催の大会とあって親子ともども大はりきりで、杵をにぎる手にも力がこもり、冷たい北風なんてなんのその、とばかりに額にはうっすらと汗がにじんでいた。

できあがったもちは、ホールに運ばれ、おしんもちと呼ばれる大根もち、あんこ、きなこ、なっとう、けんちんなど五種類のもちがつくられ、参加した約百五十人の親子で昼食会が行なわれた。帰りには、紅白もちが配ばられ子供たちは大喜び。

お供えもち贈る!!

保育所では、もちつき大会でついたもちを〝お正月用のお供えもちに!〟と村最長寿の中野目アキさん(九十四歳・中ノ内)や日ごろお世話になっている村立病院・診療所(歯科)・駐在所、それと幼稚園に贈った。

▲保育所児童から中野目アキさんへ贈る



村長を囲んで表彰された田崎さん(右)と大野さん(左)◀

民生委員(児童委員)改選!!

去る12月1日付で民生委員の一斉改選が行なわれ、次の方々が委嘱されました。

生活に関すること、困りごとに関することなど、近くの民生委員にお気軽にご相談下さい。

◎川崎地区

○舘地区　――　佐川皆男

○八丸、桎内、富久保地区　――　青柳　勉

○白松山、十軒前、大小踏切地区　――　鈴木勝己

○下宿、小林、新宿地区　――　熊井文子

○高屋、根岸、寄井地区　――　中畑ハルエ

○太田川地区　――　小針善治

○踏瀬地区　――　北畠吉明

○中ノ内、外ノ入、谷地久保地区　――　吉田一二

○長峯、愛宕山、狐山、内屋敷地区　――　和泉保則

○堂ノ下地区　――　菊地一三

○瀬知房地区　――　岡部初代

○瀬知房、瀬知房後地区　――　田崎武水

○新田、山寺地区　――　小玉治枝

○下町地区　――　井上邦孝

○上町地区　――　緑河　啓

○屠胴原、松ケ沢地区　――　鈴木正吉

厚生大臣表彰

退職民生委員三名

十一月末で退職した民生委員四名のうち、田崎正三、大野安雄、木野内実雄の三名が厚生大臣から感謝状と記念品が贈られた。

この感謝状は、二期以上(一期は三年間)民生委員として職務に従事し、退職時に受けるもの。なお、田崎正三委員は、一昨年県知事表彰を受けている。(十年以上民生委員として職務に従事した。)

いつまでも元気で！

村長お年寄りなど訪問

十二月十五日、海上博之村長や菊地一三民生委員総務などが、寝たきりや一人ぐらしのお年寄りなどを訪問し、一人一人に「寒いから、かぜをひかないように気をつけてください。」と激励し、歳末助け合い見舞金を送った。

また、西郷村の太陽の国や塙町の米山荘などの村内出身らのお年寄りや身障者へも歳末助け合い見舞金が送られた。

見舞金を送る村長

チャリティーコンペで寄附

ゴルフクラブ

去る十一月二十三日新白河カントリークラブにおいて実施された泉崎ゴルフクラブの本年最後のチャリティーコンペには、約二十名の出席があり、なごやかのうちに終了した。

コンペで集まったチャリティー基金三万円は、成沢俊雄会長より泉崎村立幼稚園に寄附された。

「今後の幼稚園教育の一助として役立てたい。」と幼稚園では喜んでいた。

三万円を寄附

明るい社会づくり福島県協議会白河支部より「交通安全活動に役立てて下さい。」と交通安全協会に三万円の寄附があった。チャリティーの益金の一部を寄附してくれたもの。関係者一同感激し、「死亡事故ゼロ二千日達成への活動に役立てたい。」と語っていた。

愛敬山古墳と愛染明王像

第二工業団地造成の関連事業として去る十二月一日から十七日まで愛敬山古墳の発掘調査が行なわれ愛染明王の石像が出土した。

白川風土記によるとこの古墳は胴塚といわれ、康平年間（九百二十五年前頃）源義家が安部貞任の軍を破った時の戦死者供養の塚とした。その後この塚の上に愛染明王の石像を勧請して鬼門仏といい地名を愛敬山と改めたと誌されている。

この度の発掘で塚の中央に近い地下二メートルのところから愛染明王の石像が出土した。

この石像は高さ九十センチ、幅四十五センチ、重さ八十キロの白河石（凝灰岩）で愛染明王の像が彫まれているが頭部がこわされていて、目が三つあるという愛染明王の顔は見られないが像の右側に享保、左側に六月吉日の字が陰刻されているところからおよそ二百五十年前に祀られたものであることがわかる。

なお同じところから多数の経石が出土している。これは玉石の面に大日如来を表わす梵字が墨で書かれている。

出土した愛染明王像

空手道場で演武会

青少年健全育成を目的とした空手道会の納会（演武会）が、十二月二十五日農村環境改善センターで開催された。〝武道を通し、忍耐力を身につけ、礼儀正しい青年に成長し、村の発展に尽してほしい〟と村長の祝辞の後、一人一人の演武に入り、優秀者及び努力者に楯、メダルが授与された。

今月の行事

☆役場関係

―総務課―

6日㊎　消防出初式

―税務課―

31日㊋　固定資産税納期日

―住民課―

11日㊌　三種混合予防接種（S56・1・1～12・31生）

18日㊌　風診予防接種（中学生）、ジフテリア（小六年生）

―企画開発課―

宅地分譲予約受付中

―保育所―

6日㊎　保育開始

10日㊋　子供新年会（映画会）

12日㊍　避難訓練

18日㊌　おべんとうの日

19日㊍～21日㊏　身体測定

24日㊋　誕生会

―幼稚園―

13日㊎　昭和五十九年度新入園児親子面接会

17日㊋　第三学期始業式

18日㊌～20日㊎　身体測定

21日㊏　園内美化の日

27日㊎　第一回縄とび大会

28日㊏　避難訓練

30日㊊　保育参観

31日㊋　お誕生会

☆学校関係

―第一小学校―

10日㊋　始業式

―第二小学校―

10日㊋　始業式、方部子供会

13日㊎　校内書き初め展

25日㊌　みんなの時間

28日㊏　避難訓練

―中学校―

10日㊋　始業式

―中央公民館―

1日㊐～3日㊋　休館

4日㊌　御用始め

5日㊍　青年学級

8日㊐　子供将棋教室

11日㊌　習字教室

12日㊍　青年学級

13日㊎　社会教育委員会公民館運営審議員会　舞踊教室

14日㊏　書き初め展

15日㊐　書き初め展　第一回スキークラブスキー教室　子供将棋教室　囲碁将棋大会　新春ゴルフコンペ（烏山城CC）

16日㊊　書き初め展

17日㊋　老人生きがい文芸教室

18日㊌　習字教室

19日㊍　青年学級

20日㊎　舞踊教室

22日㊐　子供将棋教室

24日㊋　老人生きがい文芸教室

25日㊌　習字教室

27日㊎　高砂学級

27日㊎～28日㊏　青年学級（オールナイトスタディ）

29日㊐　青年学級（スキー教室）

昭和五十九年度　保育所入所児募集（一月末〆切）

保育所では、昭和五十九年度入所児を募集しています。申請書の受付〆切は今月末までとなっていますので入所を希望なさる方は、早めに申請書を提出してください。

尚、次のような場合、児童福祉法により入所が必要です。

①母親が働いているため、子供を保育する人がいない。

②母親のいない家庭。

③母親本人、または、家族が長期にわたり入院を必要とするため保育する人がいない。

など、子どもの保育にあたることができない家庭。

その他詳しいことは、保育所（☎三六一九）または役場住民課（☎二一一一）までご連絡ください。

なお、入所申請書は、保育所か、役場住民課に置いてあります。

おいわい・おめでた

□結婚おめでとうございます

新郎	新婦	住所
木戸　馨	関和久字下町	五十一番地
北沢　静男	関和久字富内	和子　二番地
清見　茂美	踏瀬字瀧原山	明美　十三番地の三
邊見　一利	太田川字居平	かほり　三十四番地
緑川　廣勝	関和久字木ノ	直美　内百三十七番地の二十九

□出産おめでとうございます

お子様名	父名
泉崎字小林四十七番地の一	白岩　希望　正美
踏瀬字長峯五十番地	草野　栄治　喜榮
関和久字新六二四番地の三	稲本　知佳　和也
関和久字下町五十番地	木戸　靖貴　義弘
関和久字庭渡神社二六番地	緑川　輝三　一義
泉崎字中ノ内十八番地	中野目　ゆかり　修